

りいぶる

No.59
2013.12



おとうさん、編み物に挑戦！

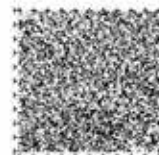
※「りいぶる」開館1年目に男女共同参画を啓発するため、全国公募で大賞作品に選ばれた絵本「おとうさんのおおきなポケット」の作者、相馬 匡（むつ）さんより、「りいぶる」15周年によせて描いていただいたイラストです。

目次

- ① りいぶる★アイ「りいぶるフェスタ2013！」
- ② 講座レポート・講座案内
- ③④ 特集リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
「からだの声を聞いてみよう」
- ⑤ 地域の子カラ
- ⑥ “りいぶる”図書室
青少年・男女共同参画課 / 和歌山労働局インフォメーション
- ⑦ “りいぶる”相談室
平成25年度“男女でつくる元気な和歌山”ポスター最優秀賞受賞作品

“りいぶる”マルシェ開催！
15周年記念イベント
12月15日(日)

一坪チャレンジショップ、
きいちゃん写真撮影会もあるよ！
詳しくはHPを検索♪





「りいぶる」フェスタ 2013!



今の自分を越える～私のチャレンジ～

きくま ゆきの
菊間 千乃さん (弁護士)

11月16日(土) 和歌山ビッグホール特設ステージ

今年の「りいぶる」フェスタは、「キャリアを持って輝く女性」がテーマ。アナウンサーとして「めざましテレビ」などで活躍、その後弁護士に転身した菊間千乃さんをお迎えしました。

満員の会場のなか、軽やかに登場した菊間さん。チャレンジは就職活動をしていた大学3年生から始まります。小学生からフジテレビのアナウンサーになる夢を持ち続け、競争倍率1000倍ともいわれるアナウンサー試験を受けるも不合格。一度はあきらめかけた夢でしたが、ある報道番組を見たとき「テレビは何百万人もの人に一瞬で情報を伝え、気づきや変わるきっかけを与えられる」と実感、自分もそんな仕事がしたいと再挑戦。念願のフジテレビに入社しました。

しかし、新人の頃は思うような仕事はなく、担当した番組で1週間取材しても喋る機会さえほとんどない状態が続いたそうです。悩んだ菊間さんは、アナウンサーで初めてドキュメンタリー番組の企画書を出し、番組制作に挑戦しました。その経験から物の見方や立場を変えるだけで人は変わると学び、仕事にも前向きに取り組めるようになり新番組にスカウトされました。「今与えられた仕事を一生懸命やっていたら、ご褒美は仕事で返ってくる」と話されました。

26歳のとき、収録中にビルの5階から転落し腰椎圧迫骨折で重傷を負いましたが、長いリハビリを乗り越え奇跡的に後遺症なく復帰。このとき、医師から「この後の人生は誰かのために生きるための命だと思って」と言われた言葉を胸に仕事に進進しました。

そんなとき、菊間さんに転機が訪れます。番組でオリンピックを担当、真摯に努力するアスリートの姿から「自分はこれまで死ぬ気で何かをやってきたか」と自問するようになり。「誰もやっていないことをやりたい」という思いと、弁護士資格を持つアナウンサーがいないことから、弁護士資格を取得すべく2005年ロースクールに入学。司法試験は難関中の難関で、受験は3回までと法律で決まっています。試験に専念したいと会社に休職を交渉するもうまくいかず、悩んだ末に退職。「安定した管理職の自分は想像できなかった。3回とも落ちるかもしれないが、死ぬ気でやれば最悪のリスクは回避できる。自分のゆく道はひとつ」と決意をしました。寝食を削り「法律のことを考えなかった瞬間はない」というほど勉強の末、2度目で見事合格しました。

現在、弁護士2年目。「どんな罪を犯した人にも正当な法律の手続きを受ける権利がある。その人を信じ、人権を守る弁護をしたい」と話されました。「昨日の自分より今日の自分、今日より明日の自分が少しでも成長しているようにと思って生きてきた。40歳で弁護士となったが、チャレンジし続け生涯現役をめざしたい。自分の経験が少しでも誰かの役に立てば嬉しい」と、挑戦し続けてきた姿に大きな勇気をいただいた講演でした。



楽しいこども落語で大盛り上がり! (わかやま楽落会協力)

フェスタ Snap

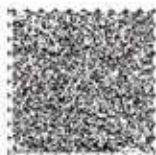


ブースでは「これってデートDV?」アンケートを実施



「男女でつくる元気な和歌山」ポスター表彰式
※受賞作品・展示スケジュールは裏表紙に掲載

たくさんご来場いただきましてありがとうございました!



※今年もふれあい人権フェスタ 2013 (16・17日) と同時開催しました。

女性のための電話相談員養成講座 実践編

7月21・28日(日) “りいぶる”

講師：竹之下 雅代さん (ドーンセンター サポートカウンセリングルームスタッフ)

ジェンダーの視点を持った電話相談について、母娘問題、性犯罪被害、DVなど女性相談の様々なケースを事例に、講義とワークショップで学びを深めました。また、相談員の二次受傷について、相談員のセルフケアの重要性を話され、相談員を含め支援者同志がつながることがエンパワメントになると話されました。

参加者からは「相談者が少しでもエンパワメントできるように積極的な関わりがしたい。そのために、もっと自分の知識を増やし感覚を磨くことが大切」との感想がありました。



心が折れない男の生き方

～しなやかに、おだやかに、したたかに生きるヒント～

8月7日(水) “りいぶる”

講師：吉岡 俊介さん (シニア産業カウンセラー)

男性を対象に開催したこの講座では、講義を中心に3人1組で語り合いの時間を持ちました。

講師は、「しなやかに、おだやかに生きるためには、会社でのモードから切り替え、肩の力を抜くこと、自分の本音の言葉で自分を語ること。本当の自分を吐き出せる場所を持つことが大切」と述べられました。男性は職場の人間関係の中で本音を語れないことが多く、家族に話すと心配するので話せない人は、男性相談を利用することを勧められました。

参加者からは、「孤立せずSOSを発信する。男性相談を活用するようにします」との声をいただきました。



“りいぶる”講座案内

女性のための自己主張セミナー

～自分も相手も大切にす
コミュニケーション～

日時：12月14日(土) 13:30～15:30

会場：“りいぶる”

講師：藤原 暁子さん

(南フェミニストカウンセリング界
心理カウンセラー)

公開セミナー

おんなとおとこ、
笑ってコミュニケーション

日時：1月15日(水) 13:30～15:30

会場：新宮市職業訓練センター

講師：姉さまキングス

(桂あやめさんと林家染雀さんの
音曲漫才コンビ)

公開セミナー

大切な人を守るために
～身近にあるデートDV、ストーカー～

日時：3月9日(日) 14:00～16:00

会場：橋本市教育文化会館

講師：伊田 広行さん

(立命館大学・神戸大学非常勤講師)

今年もやります！「元気な和歌山」地域連携事業

防災

今日からできる！いのちを守る防災術

～自分の命を守る人が、人の命を守ることができる～

日時：12月8日(日) 10:00～12:00 “りいぶる”

講師：あんどろりすさん(防災ファシリテーター)

団体名：転動☆ズ

防災

女性の目線で考える避難所運営

日時：1月19日(日) 13:30～15:30 御坊市役所

講師：今西 武さん(和歌山大学防災研究教育センター客員教授)

団体名：ウイズ・ア・スマイル

防災

防災に女性の力を！！～苦難を乗り越えて経験を生かす～

日時：12月8日(日) 13:30～16:30

那智勝浦町健康福祉センター

講師：自衛隊女性隊員、那智勝浦町防災担当者

団体名：つばさの会・和歌山

女性の生き方

みんなで語ろう女性の社会進出…私の実践

日時：2月1日(土) 13:30～16:30 “りいぶる”

講師：田畑 みき子さん(JAわかやま理事・女性会会長)

団体名：わかやま楽落会

夫婦関係

中高年夫婦の共に依存しない幸せな生き方

日時：1月12日(日) 13:30～15:00 新宮市福祉センター

講師：石蔵 文信さん(大阪樟蔭女子大学教授)

団体名：ウィメンスタディズ熊野

男性の地域参画

ローカルアクションの挑戦

(映画「幸せの経済学」上映と実践発表)

日時：2月15日(土) 14:00～16:00

和歌山市中央コミュニティセンター

団体名：男の出番をつくる会

女性の生き方

Let's まち女子トーク

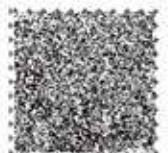
～しなやかにクリエイティブに生きるために～

日時：1月19日(日) 13:30～15:30 “りいぶる”

講師：長谷川 香里さん(納屋工房主宰)

団体名：アクトコミュニティネット

講座レポートは“りいぶる”HPで詳しく紹介しています。その他、講座イベント案内はHP、facebookをチェック！



特集 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (Reproductive Health/Rights)

一生おつきあいする、わたしたちの「からだ」は、成長にあわせて様々に変化します。

特に女性は、初潮、月経、妊娠、出産、更年期など、生涯にわたって変化が多く、日々の暮らしのなかで自分の「からだ」と向き合い考える時間を取るのなかなか大変かも。

自分たちの「いのち」や「性」と切っても切れない「からだ」について、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から少し考えてみませんか。

今までこんなこと思ったことありませんか？

早く孫を、と言われるけど、子どもを産むかどうするかは私たち夫婦の問題なのに…。

将来自分が赤ちゃんを産むって考えられな。お産って痛くて怖そうだし。

小学生になった子どもが、「赤ちゃんはどうやって生まれるの?」と聞いてきた。どう話そう?

夫が避妊をしてくれない。そろそろ働きたいからもう妊娠は避けたいのに。

生理のとき、からだが大変いいし、イライラする。ブルーで家事も仕事もはかどらない(+、+)

からだのコトって話しづらい…



自分のからだのことって意外と知らないよね。

彼に好きだから、とまわられてセックスしたけど、ほんとはまだしたくなかった。妊娠しないか心配…。

リプロの視点、気づくと…

☆リプロの視点で活動☆

自分のからだに向き合う、語り合う

出張専門開業助産師 中西 理予さん (御坊市)



中西さんは、出張専門助産師として活動をするかたわら、小中学校を中心到的いのちの授業や性教育を行っています。ご自身も子育てをしながら育児サークルを主宰し、子育て中のお母さんたちのサポートにも携わっています。

Q: 学校での「いのちの授業」、反響はいかがですか?

A: 授業で時々子どもたちから感じるの、は、「親が勝手に産んだだけ」「どうせ私なんか…」という自尊感情の低さです。思春期特有の反応かもしれません。なかには、愛されているという体験が少ないことも要因かもしれません。

妊婦さんも一緒に行って心音を聞かせ、赤ちゃんとも触れ合います。すると、多くの生徒たちはお腹に優しく声をかけ、赤ちゃんと遊んで笑顔になる。いのちに触れることで、いのちの力強さ、いのちを愛しむ気持ちを育ててほしい。自分を大切に思っていてほしいと伝えたいと思っています。

Q: 性教育の授業を行うなかで感じることは?

A: 性教育は、自分の生き方、人との関係の持ち方の根本にもなる大切なことです。例えば、月経は「憂うつでしんどい」ではなくて「順調に大人へのからだづくりが始まった証」と伝え、避妊や性感染症の話もします。

助産師としてDVや望まない妊娠をした女性と関わることもあり、女性には特に、自分のからだを守るために正しい知識を持ってほしいと伝えています。

Q: 自分のからだに向き合うとは?

A: いのちあるものすべてに「性」はあり、生きている私たちの根っこともいえるものです。人の性は、男・女だけでなく多様で、自分の経験や価値観だけでは計ることはできず、多様だと知らないことは差別を生む場合もあるのではないのでしょうか。

知ることはお互いを認めることにつながり、自分のからだのことも深く考える機会になる。もっと子どもたちの生の声を聞き私自身が勉強させてもらうとともに、一人ひとりが大切な存在だということを伝えたい。自尊感情を育てることは、虐待や不登校、デートDVなどへの予防の鍵にもなります。自分のからだに向き合い語り合える、そんな場所があったらいいと思います。

※中西さんの活動は、「りいぶる」HPにアップしています。

からだの声を聞いてみよう

リプロダクティブ・ヘルス/ライツって？

直訳すると「性と生殖に関する健康と権利」。略してリプロ。1994年のカイロの国連会議（国際人口・開発会議）で国際的承認を得た考え方で、女性が身体的・精神的・社会的な健康を維持し、子どもを産むかどうか、いつ産むか、どれくらいの間隔で産むかなどについて選択し、自ら決定する権利のこと。

リプロってなるほど、と思うことがいっぱい！

自分がどうやって生まれたか、気になって当たり前だね。伝えやすい「性」の本もあるよ。

夫婦間でも避妊は必要なこと。だってからだは自分のもの。女性が飲む「ピル」っていう避妊薬もあるよ。あきらめないで。

生理ニしんどい？
生理を楽に過ごす方法として、布ナプキンを使うなど、生理について知れば、自分のからだをもっと好きになるよ。

子どもを産むかどうか、何人産むかは女性が自分で決めていいんだよ。自分のことだから、じっくり考えてみて。



からだのコト、知れば知るほど自分が好きになるわ

お産は、新しいいのちに出会うすてきなこと。自分らしいスタイルで産めるところもあるよ。お産のこと、もっと知ってみて。

自分のからだと心の主人公は自分。
“自分のからだ”、もっと知ってみて。

妊娠や性感染症のことも心配だね。女の子から「No」って言っていきたいんだよ。それでも無理にしようとするのは性暴力だよ。



“りいふる”図書室「リプロコーナー」のおススメ本

生理が楽しみになる本
～知って、やって、身体が変わる！～



著者：京谷 奈緒美
漫画：松島 むつ
出版社：講談社

「生理が楽しみ」って、いったいどういうことだろう？ 面倒くさい、しんどいイメージを払拭させるタイトルに思わず注目。

生理のこと、布ナプキンのこと、ノーナプキンで生理を過ごせるなど、学校で、かつ、母親からも学ばなかった、生理を楽しみ快適に過ごすためのコツが満載。目からウロコとはこのことだ。イラストやマンガでも表現され、生理が始まったばかりの少女にもわかりやすい工夫がいっぱい。

女性として自分のからだを知って自分を好きになるために、できることから実践してみませんか？

オニババ化する女たち
女性の身体性を取り戻す



著者：三砂 ちづる
出版社：光文社新書

「オニババって何？ 私には関係ないわ」と、タイトルだけで判断してはもったいない。女性としての性を生きるための「身体性」について、そのからだのもつエネルギーと上手につきあう方法が書かれている。私たちは月経、お産、女性のからだを持つ力とその生かし方を知らなすぎる。

女性が身体性を取り戻し次の世代へ伝えていくためにも、この本を読んでまず知ってください。

リプロコーナーには、他にもたくさんの方のからだや性の本があります。

望まない性的行為を受けたら…

性暴力救援センター和歌山
マイン
わかやま mine

(和歌山県立医科大学附属病院内)

性暴力を受けた女性のために、女性支援員がここからからだの回復のための細やかな支援を行います。

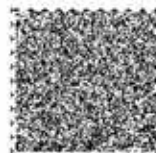
◆相談受付専用ダイヤル

073-444-0099

相談・医療 ※祝日、年末年始を除く
9:00～17:00 (土・日は16:30まで)

※緊急避妊などの緊急医療は 22:00 まで
(年末年始を除く)

からだと心のケアを一緒に考えます。
一人で悩まず、ご相談ください。



地域の子カラ



地域で自分らしく、イキイキと活動する人を紹介しています。

男女が力を合わせて地域を活性化

株式会社スターフードジャパン 代表取締役 ^{しんこ} 新古 ^{あつこ} 祐子さん (湯浅町)

詳しくはこちら

和歌山の食の魅力を全国に発信



新古さんは、食の安全・安心が求められている昨今、本当にいいものを消費者に届けようと地域の食品産業活性化に取り組んでいます。

湯浅醤油(有)を営む敏朗さんとの結婚を機に営業に携わるなかで、「食品購入者の大多数は女性。女性が欲しいものを作らないと売れない」とフードアナリスト(※1)1級の資格を取得、生産消費者の視点から自社商品をアピールし、全国的なブランドにすることに成功しました。また、自社製品の海外への販路拡大をはじめ、地域食材の商品開発からマーケティング、輸出入の支援を行うスターフードジャパンを設立し、世界に通用する「和歌山の食」の魅力を全国に発信しています。さらに、6次産業化(※2)までの総合的サポートを行うプランナーも務め、女性の視点からの商品企画等地域のブランド力を高めることにも貢献しています。

※1フードアナリスト：日本フードアナリスト協会が認定する食の専門家
 ※26次産業化：1次産業（農林漁業）と、2次産業（加工）・3次産業（流通・販売）との総合的推進を図り、農林漁業地域の雇用確保、所得向上、経営安定化等を図るもの。

地域の食の伝統を未来に伝えるために

新古さんは、敏朗さんとともに、子どもたちに醤油発祥の地、湯浅町に誇りを持ってもらいたいとの想いから、小学校での醤油づくりなど、食育教育を行っています。

また、地域農家と紀州伝統野菜「湯浅なす」を復活させ、プレミア和歌山(※3)にも登録されました。湯浅なすは地元湯浅の金山寺味噌店で商品化されるなど、地域で広がりを見せています。

新古さんは、今後の活動について、「互いに引き立て合うことが大切。夫婦ともに自立して支え合いながら、社会貢献を含む活動にぶれずに取り組んでいきたい」と話されました。

和歌山の魅力あふれる食材を全国に発信する新古さんの今後の活躍を大いに期待します。



※3プレミア和歌山：安全・安心を基本に、幅広い分野で優れた県産品を「和歌山らしさ」、「和歌山ならではの」の視点で推奨する和歌山県優良産品推奨制度

発達障害※の子どもたちを支援して

NPO法人クロネット 理事長 ^{あみたに} 神谷 ^{ひさよ} 妃佐代さん (和歌山市)

詳しくはこちら

個別支援と居場所づくり



スタッフの皆さん
 (前列左から2人目が神谷さん)

神谷さんは、自閉症の娘を育てるなかで障害があっても地域で自立して生きていける社会にと思い、自主活動を経てNPO団体の法人格を取得。2009年児童デイサービス「アミ」を始めました。

就学前から高校生までの子どもを預かり、学習や生活体験を通して子どもの持つ力を伸ばし、社会的スキルを身につける場を提供しており、子どもたちにとっては心地よい居場所になっています。またスタッフには大学生もおり、成長し合える場でもあります。自宅の英語教室で、発達障害とはいえないが勉強や人間関係に困っている子どもたちと関わった経験からも、一人ひとりに寄り添う個別支援を大切にしています。

●お子さんの発達など、ひとりで悩まずに気軽にクロネットへ相談を。
 (TEL: 073-454-7111. 月~金)
 (9:00~18:00)

地域で「あたりまえ」に暮らすために

「子どもたちへの関わり方を工夫することで、イキイキと変化していくのは大きなやりがい」と話され、また、我が子のために常に頑張らねばとしんどい気持ちを抱え込みやすい保護者に寄り添い、気軽に悩みを言える関係づくりを心がけています。

発達障害は、理解されにくい症状のためトラブルを生むこともあり、クロネットでは保育所や小中学校等を訪問し学校生活の調整や、地域生活の相談支援に力を入れています。「一人への支援から、その子だけでなく誰もが過ごしやすい環境に変わることもあり、その結果、理解が深まることも多い」と話されました。

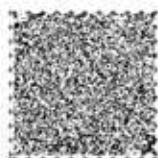
様々な機関がつながることで大人になっても『あたりまえ』に暮らせる社会をめざして、今後も神谷さんの取組は続きます。



クリスマス会

※発達障害：自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、注意欠陥・多動性障害(ADHD)学習障害など生まれつき脳機能の発達に関係する障害。コミュニケーションや人間関係が苦手なことが多く、症状は個人差が大きいため周囲から理解が得られにくい。

☆このコーナーで取り上げた方の詳しい活動内容は、「りいぶる」HPで紹介しています。



図書のご紹介

☆貸出の方法や本の検索など、お気軽にスタッフまでお問い合わせください☆

「女たちのお葬式」



著者：NPO法人葬送を考える市民の会
出版社：太田出版

2000年にNPO法人格を取得した団体「葬送を考える市民の会」(札幌市)が取り組むのは、葬儀社主導ではなく、常識に縛られない自由な発想の葬送のやり方。「納得のいく、心のこもった、自分らしい」お葬式を考えるきっかけになる本。

大切な人とのお別れで想いを残さないためにもまず知ることが大切。常識だと思っていたことが実はそうではないことを教えてくれる。

「小鳥の贈りもの 夢に向かって飛び立つあなたへ」



著者：ピルコ・ヴァイニオ
訳：山田篤夫・山田佳希子
出版社：PHP 研究所

鳥の雛が飛び立つまでを描く絵本。今を大切に生きること、自分を愛すること、勇気をもって一步踏み出すこと、本当にやりたいことをやってみることなど、たくさんの大切なメッセージが隠されています。

「時にはゆっくり休んでもいいのです。他の人が働いていても気にしないこと」。

心が折れそうなあなたへの贈りもの。

あなたのイチ押し教えてください!

“りいぶる”図書室で、「○○さんのおススメ」として掲示します。

詳しくは、“りいぶる”まで(*^_^*)

ボランティアがつくる書評誌

この本よんだ?

～りいぶる BOOK プラス～

第4号発行しました!

あなたの運命の1冊に出会えるかも…

書評誌は、図書室に配架しています。

青少年・男女共同参画課インフォメーション

上富田町男女共同参画宣言都市記念式典 開催!



10月5日、上富田町と内閣府との共催により男女共同参画宣言都市記念式典が開催されました。

式典は、県立熊野高等学校生徒による和太鼓演奏から始まり、男女共同参画に関するポスターコンクール最優秀賞の表彰や内閣府からの現状報告がありました。

続いて、登山家の田部井淳子さんの記念講演「エプロンはずして夢の山」が行われ、登山活動や夫の家事参画について語られました。

また、参加者全員で口熊野(く・ち・く・ま・の)を頭文字にした宣言文を読み上げました。町民と議会と行政が一体となり、互いに人権を尊重し合い、誰もが個性や能力を発揮できる「男女がわくわく!子供がすくすく!」一人ひとりが幸せに生きることができる上富田町をめざすことを宣言しました。

上富田町男女共同参画都市宣言文

- く 加えよう「男女平等」の意識
- ち 地域で守ろう 安心・安全な社会
- く 暮らしに活かそう みんなの意見
- ま まとまろう お互いの協力で
- の 伸ばそう 一人ひとりの能力

※「口熊野」とは、熊野古道が「中辺路」「大辺路」に分かれる分岐点であり、上富田町は熊野の入り口とされています。

◆男女共同参画推進事業者 登録募集中!◆

和歌山県では、男女がともに安心して生き生きと働くことができる職場・環境づくりに取り組んでいる事業者の皆さんを登録し、その活動を応援するため、県のホームページなどで広くその取組を紹介します。

男女共同参画を推進するとメリットがいっぱいです!



優秀な人材確保
企業イメージの向上
信用・知名度がアップ
従業員の労働意欲向上
などにつながります!
事業者の皆さん、ぜひ登録をしましょう!

Q: どのような事業者が対象ですか?

A: 県内に事業所がある企業(支店等を含みます)、団体等です。

Q: 登録にはどのような条件がありますか?

A: 次のいずれかの取組を進めていることが必要です。

- ①女性が能力を発揮しやすくするための取組
- ②仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進のため取組
- ③セクシュアル・ハラスメント防止のための取組
- ④その他上記項目以外の男女共同参画推進のための取組

Q: 登録したらどうなりますか?

A: 登録証を発行し、取組を県のホームページや情報誌などで広く紹介し、各種情報提供等を行います。

詳しくは、ホームページで…

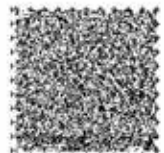
[和歌山県男女共同参画](#)

[検索](#)

◆和歌山労働局からのお知らせ◆ 『必ずチェック 最低賃金! 使用者も労働者も』

平成25年10月19日から、和歌山県の最低賃金は、時間額701円となりました。

詳しいことは、和歌山労働局賃金室(073-488-1152)、または最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。



“りいぶる”相談室

相談受付専用ダイヤル **073(435)5246**

相談料は無料。専門の相談員がお話をおうかがいします。秘密厳守です。
ナンバーディスプレイは使用していません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に、女性相談員が応じます。

電話相談

☎(火水木金土) 9:00～20:30
(受付は20:00まで)

☎(日) 9:00～17:00
(受付は16:30まで)

面接相談 (予約制・女性のみ)

☎(火水木金土) 9:00～17:30
(受付は16:30まで)

☎(日) 9:00～16:00
(受付は15:00まで)

女性のためのカウンセリング

女性が抱えるこころの問題に、女性カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

☎(全) 13:00～16:40
※第1～第3金曜日

予約制、各日4人まで。
相談時間は1人40分。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に、女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

月4回 13:00～14:50

※日程は“りいぶる”まで
ご確認ください。

予約制、各日3人まで。
相談時間は1人30分。

男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に、男性相談員が応じます。

☎(水) 16:00～20:00 ※毎月第2水曜日

予約優先(匿名可) 相談時間は1人40分程度

平成25年度
“男女でつくる元気な和歌山”
ポスター最優秀賞受賞作品



酒井 優衣さん
(和歌山市立雄湊小学校 3年)



島本 ぞんさん
(和歌山市立大新小学校 4年)



加藤 凛さん
(田辺市立中辺路中学校 3年)



奥野 茉那さん
(和歌山市立和歌山高等学校 2年)

応募のあった全作品は、和歌山バス株式会社のご協力を
得て展示します。
展示期間：平成25年12月17日～平成26年4月16日
※走行路線は日によって異なります。詳しくは和歌山バス
株式会社へお問い合わせください。
TEL 073-431-9751

◆発行 和歌山県男女共同参画センター

“りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

TEL (073) 435-5245

FAX (073) 435-5247

◀メールアドレス▶ libre@sinus.ocn.ne.jp

開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時

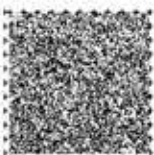
日曜：午前9時～午後5時30分

休館日 毎週月曜・国民の休日(祝日)

年末年始(12月29日～1月3日)

HPは“りいぶる”で検索してください。

りいぶる



一企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山eかんばにいー